

愛知製鋼株式会社

- ・**2019年3月期 第2四半期決算概要**
- ・**2020年度 中期経営計画の進捗と課題**

2018年11月1日

**愛知製鋼株式会社
代表取締役社長
藤岡 高広**

目次

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 2020年度 中期経営計画の進捗と課題
3. 将来ビジネスの方向性
4. 最近のトピックス

目次

- 1. 2019年3月期 第2四半期決算概要**
2. 2020年度 中期経営計画の進捗と課題
3. 将来ビジネスの方向性
4. 最近のトピックス

(1) 経営成績

(億円)

		前年同期 (17/4-9)		当上期 (18/4-9)		前年同期比増減		既公表値 (4/27)	公表値 比増減
			利益率		利益率		増減率		
連 結	売上高	1,138		1,237		+99	9%	1,218	+19
	営業利益	70	6.2%	55	4.5%	▲15	▲21%	59	▲4
	親会社株主に帰属する 当期純利益	51	4.5%	37	3.0%	▲14	▲28%	39	▲2
	減価償却費	65		67		+2	4%	-	-
	キャッシュフロー (営業利益+減価償却費)	135		123		▲12	▲9%	-	-
単 独	売上数量(千t)	543		569		+26	5%	569	+0

当上期実績

販売価格の値上げや連結子会社の利益増加があったものの、
 原材料・副資材・エネルギー価格の値上がりや、減価償却費の
 増加などにより、前年同期に対し**増収減益**。

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

AICHI STEEL

5/27

(2) カンパニー別成績(連結)

(億円)

	前年同期 (17/4-9)			当上期 (18/4-9)			増減	
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益
鋼カンパニー	528	51	9.8%	605	41	6.9%	+77	▲ 10
鍛カンパニー	523	13	2.5%	543	7	1.4%	+20	▲ 6
スマートカンパニー	71	2	3.2%	72	2	3.4%	+1	+0
その他	14	3	21.8%	15	4	27.8%	+1	+1
合計	1,138	70	6.2%	1,237	55	4.5%	+99	▲ 15

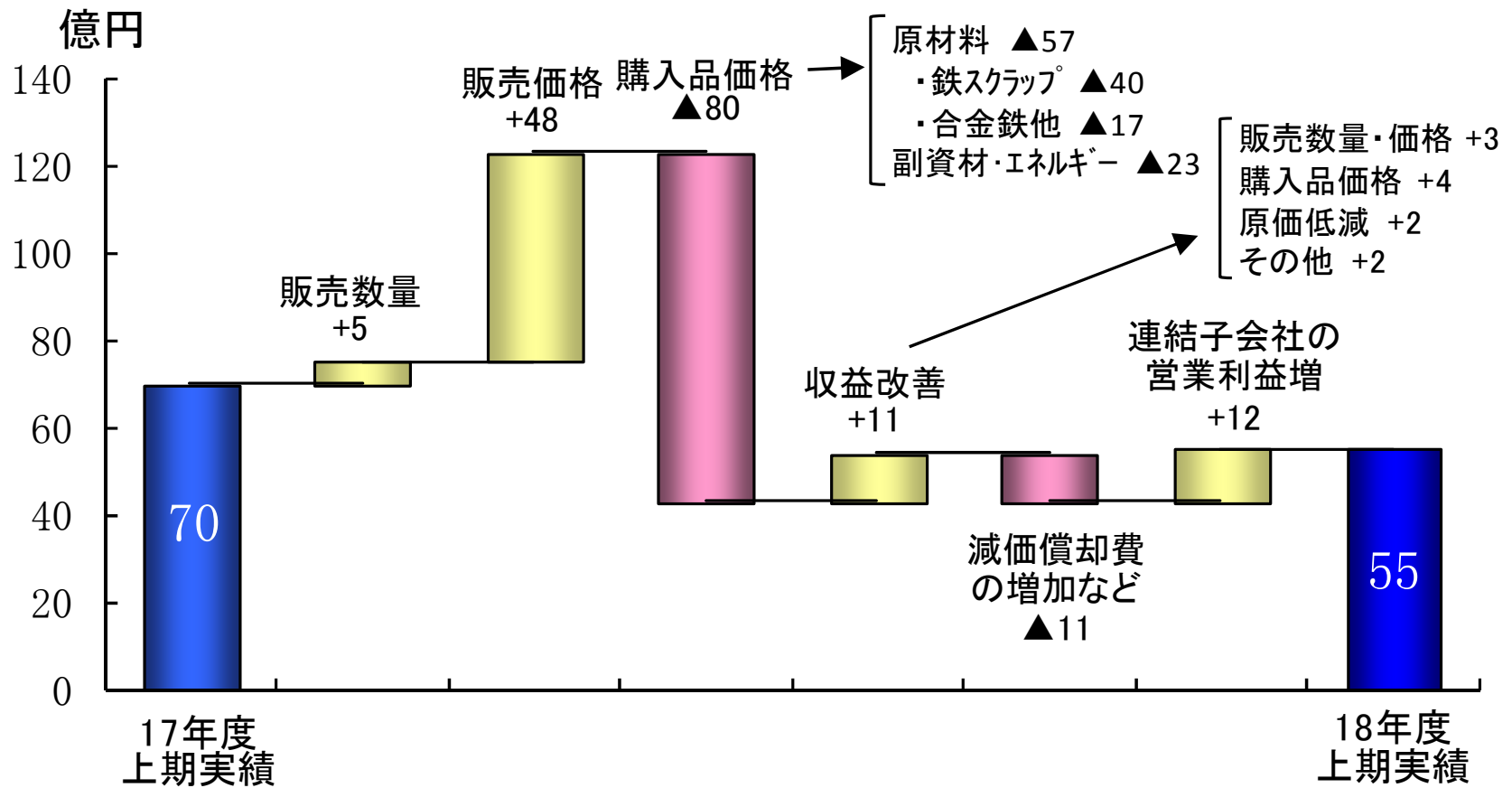
鋼(ハガネ) : 販売数量の増加や販売価格の値上げはあったものの、
購入品の値上がりの影響が大きく、**増収減益**

鍛(キタイル) : 販売数量の増加や販売価格の値上げ、海外子会社の
利益増はあったものの、材料(鋼材)価格の上昇が
上回り、**増収減益**

スマート : 磁石原料の上昇や電子部品の岐阜工場立上準備費用
の増加等はあったものの、磁石・デンタル等の
利益改善もあり、**増収・利益横ばい**

(3) 営業利益(上期実績)の増減要因

連結・前年同期比



(4) 通期見通し

7/27
(億円)

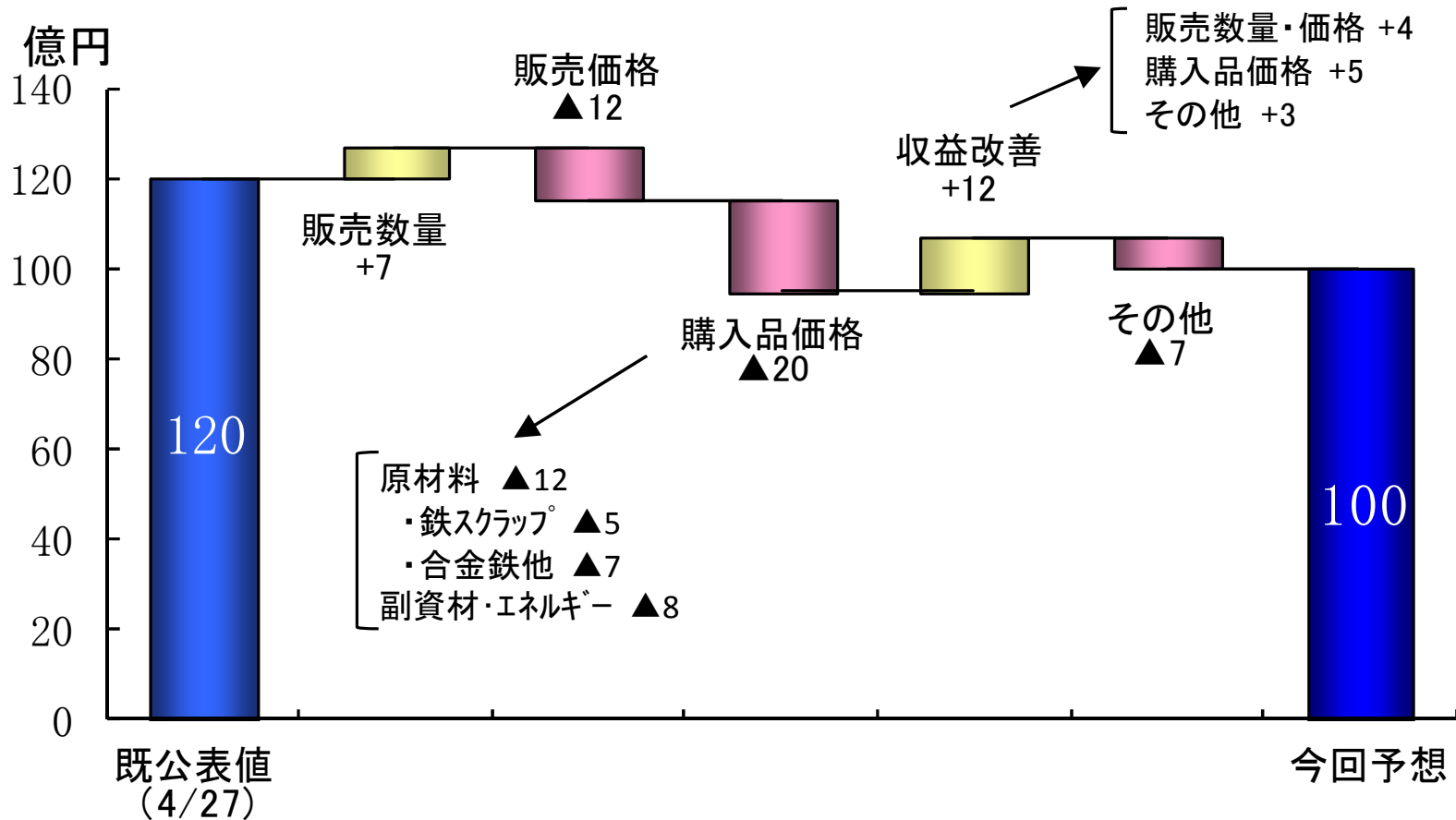
	前期 (17/4- 18/3)	利益率	通期予想 (18/4- 19/3)	利益率	前期比増減		既公表値 (4/27)	公表値比 増減
					増減	増減率		
連結	売上高	2,362	2,551		+189	8%	2,508	+43
	営業利益	118	100	3.9%	▲18	▲15%	120	▲20
	親会社株主に帰属する 当期純利益	81	65	2.5%	▲16	▲21%	77	▲12
	減価償却費	138	150		+12	9%	150	-
	キャッシュフロー (営業利益+減価償却費)	256	250		▲6	▲2%	270	▲20
単独	売上数量(千t)	1,130	1,182		+52	5%	1,162	+20
単独	年間配当金(円/株)	120	120		-	-	120	-

通期見通し

下期は当初の想定に対し、販売数量は増加を見込むものの、
原材料・副資材・エネルギー価格上昇によるマイナス影響が
大きいことから、**通期予想を下方修正する。**(売上高は上方修正)

(5) 営業利益(通期予想)の増減要因

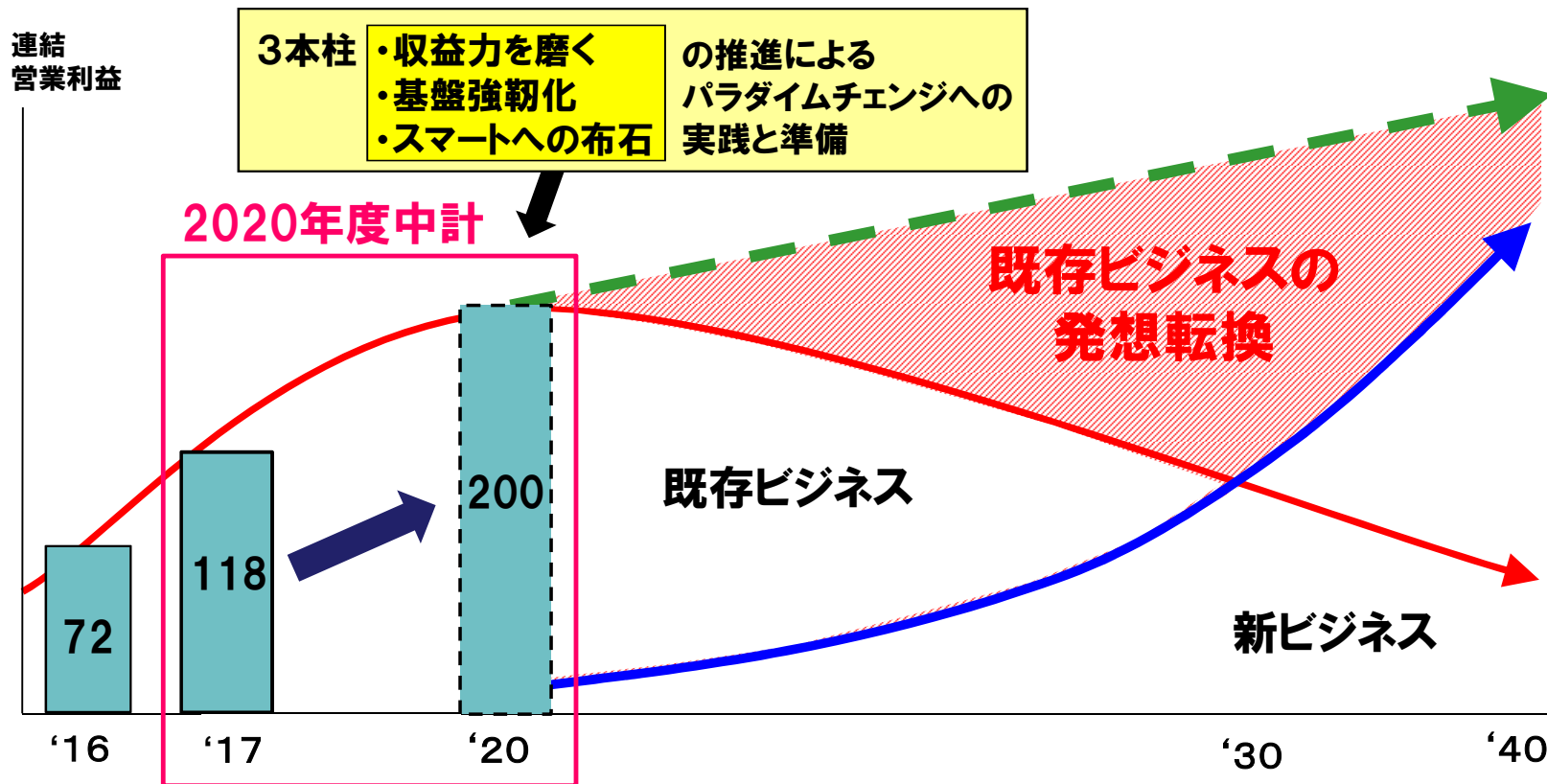
連結・既公表値比



目次

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
- 2. 2020年度 中期経営計画の進捗と課題**
3. 将来ビジネスの方向性
4. 最近のトピックス

(1) 中期経営計画の位置づけ

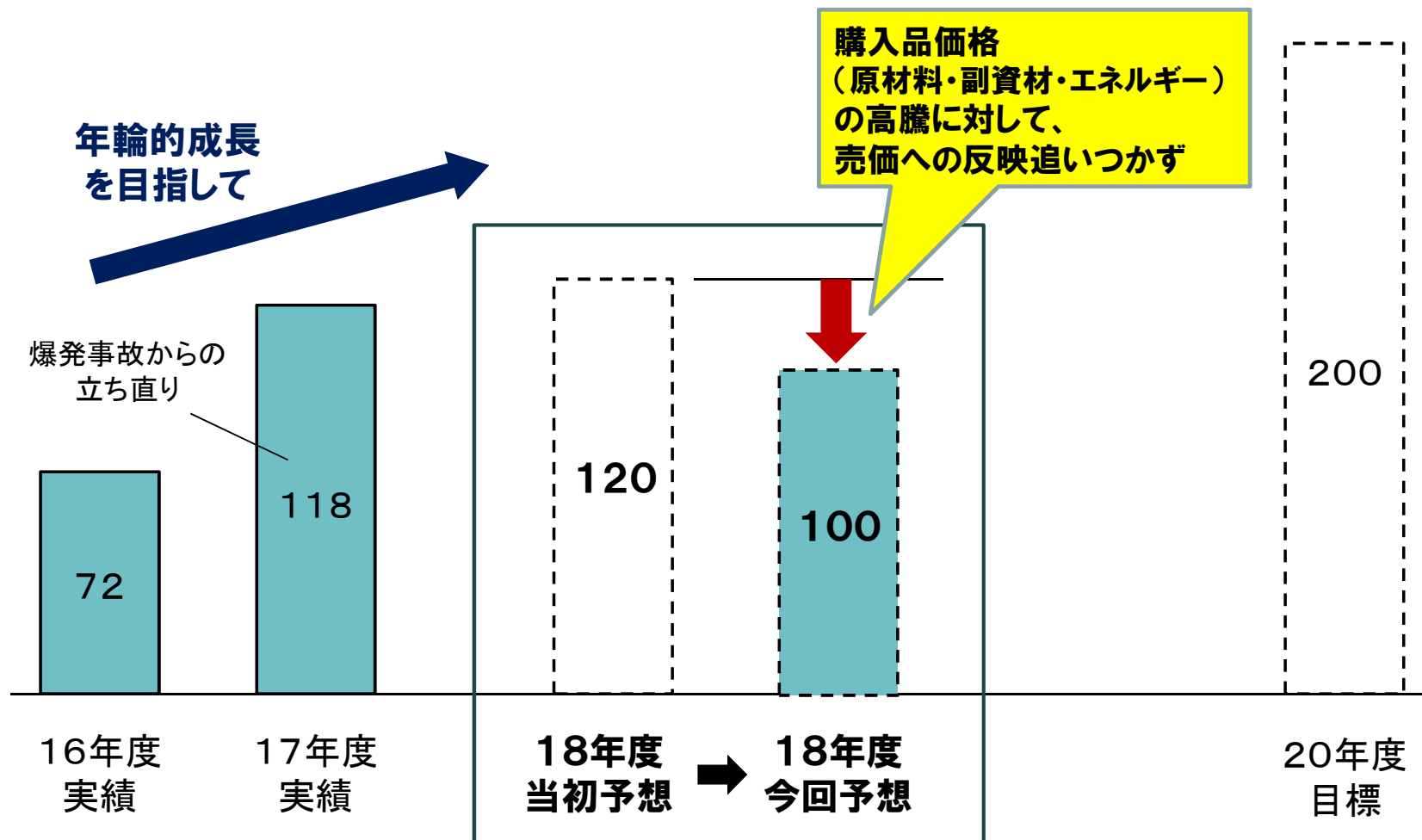


・旺盛な需要への対応
・新ビジネス種まき

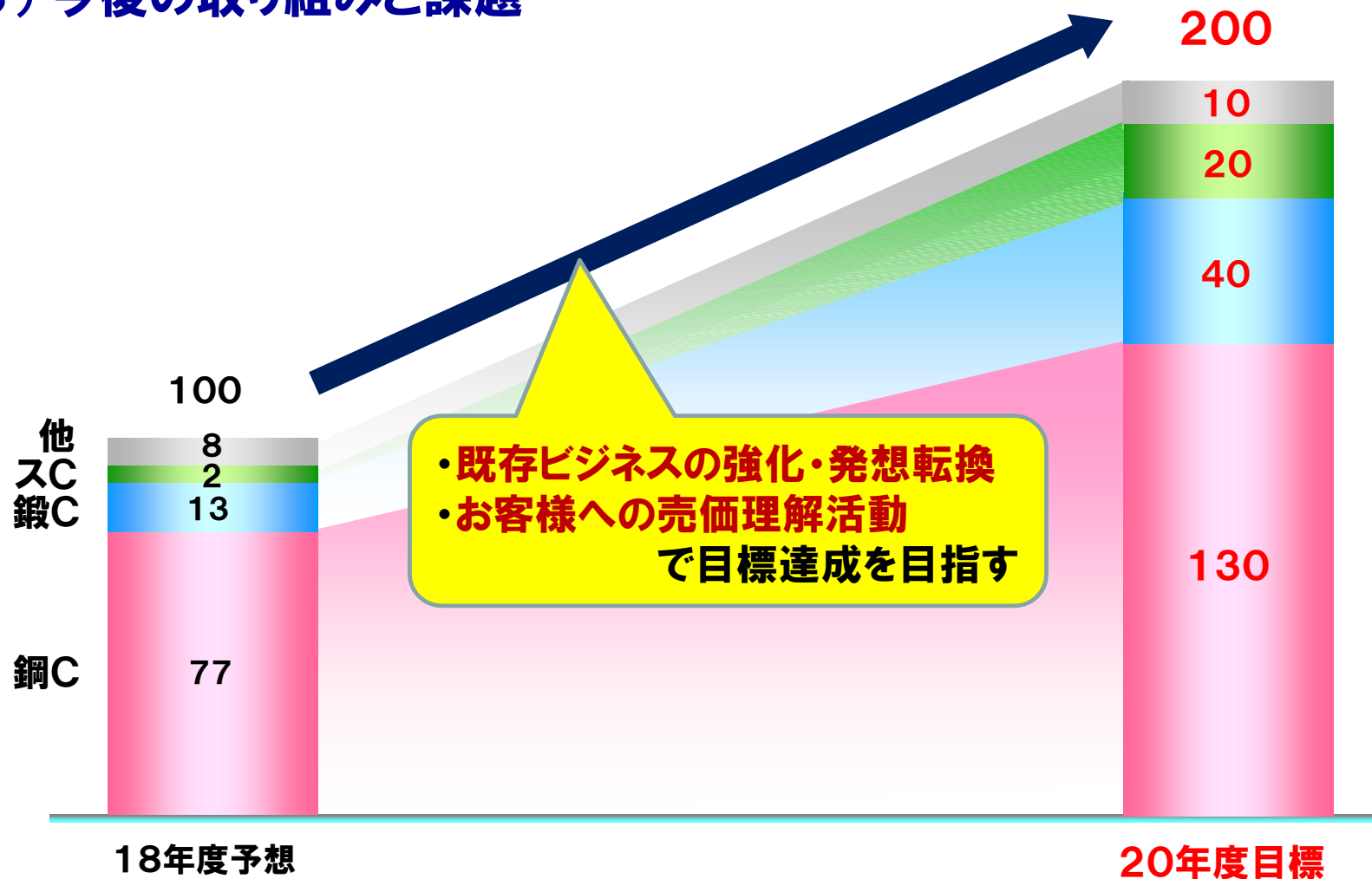
・ステンレス・電磁品を
中心とした成長戦略展開
・鍛造リバイバル

スマート社会に
向けての脱皮

(2) 中期経営計画の進捗〔連結営業利益(億円)〕



(3) 今後の取り組みと課題



【鋼カンパニー】 今後の取り組みと課題

キーワード：旺盛な特殊鋼需要 及び ステンレス新規需要への対応

◆ 全社総力挙げての特殊鋼増産〔5万トプロジェクト〕

（新精整ラインの戦力化＋
ロスミニマム化による現有設備の能力最大化）

◆ ステンレス新規需要への対応

（インフラ寿命向上に貢献するステンレス形鋼 及び 鉄筋バー、
水素社会に向けた高機能ステンレスの販売拡充）

◆ お客様への売価理解活動

（資源・資材・エネルギー価格高騰分の反映）

【鍛カンパニー】 今後の取り組みと課題

キーワード： 本社鍛造の収益力強化と海外ビジネスの伸展

- ◆ 新設備導入効果の最大発揮とグローバル拠点への展開
(リングギヤ用 新型ローリングミル 等)
- ◆ 駆動ユニットの電動化を見据えた 鍛鋼一貫での部品開発
(工法開発と並行して、新工法最適材を開発)
- ◆ 粗材から部品への指向を強化し、技術領域を拡大
(機械加工工程 等)
- ◆ 海外ビジネスチャンス(顧客現調化プロジェクト 等)の取り込みと海外拠点の利益拡大

【スマートカンパニー】 今後の取り組みと課題

キーワード： 電子部品・磁石事業の伸張と
センサビジネスの市場創生

◆ 電子部品(パワーカード)受注急増への生産対応

(知多工場に続く、第2生産拠点としての
岐阜工場の計画的な生産能力増強)

◆ 磁石の中国ビジネス強化・拡大

(本社、海外販社(欧・中)の3拠点連携による“受注拡大”と
中国生産会社での“生産拡大”)

◆ スポーツ市場をはじめとした、センサ応用商品の開発・投入

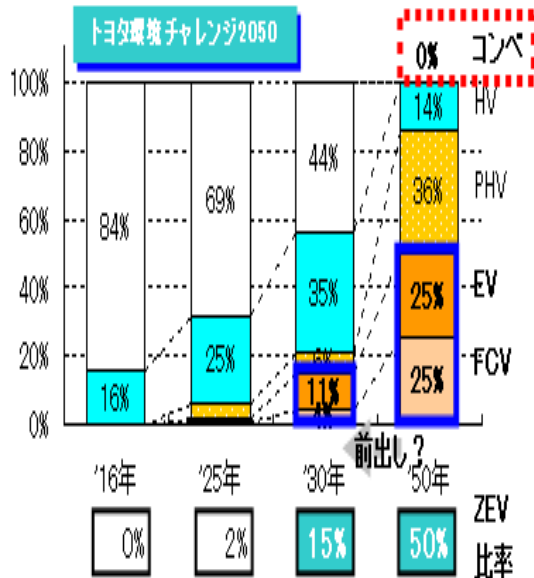
目次

1. 2018年3月期 第2四半期決算概要
2. 2020年度 中期経営計画実現への取組
- 3. 将来ビジネスの方向性**
4. 最近のトピックス

3. 将来ビジネスの方向性

(1) 中長期の環境予測

(1) 次世代車の拡大



- ◆ エンジン部品の激減
- ◆ 電池・モーター需要拡大
- ◆ 発電・充電インフラ拡大

(2) スマート社会の到来

スマートモビリティ
／自動走行、AI運転、シェアサービス

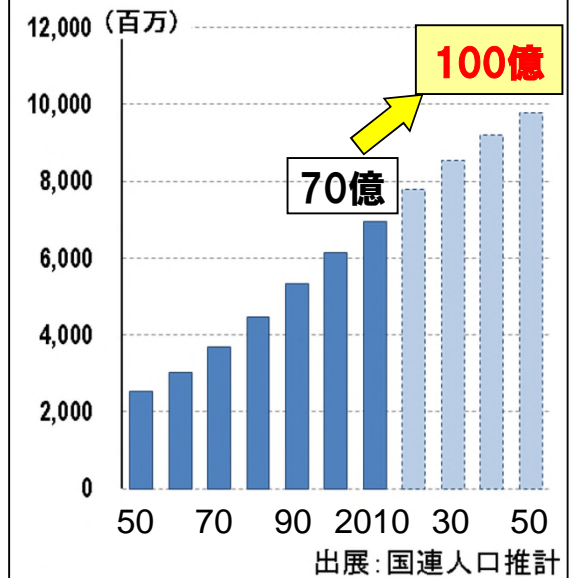
インフラモニタリング

スマート工場

エネルギーマネジメント

- ◆ 交通事故ゼロ社会実現
- ◆ 過疎地・高齢者の移動手段確保
- ◆ 道路インフラ再構築
- ◆ 安心・安全・健康志向高まり

(3) 人口爆発



- ◆ 食糧・水不足
- ◆ エネルギー不足
- ◆ 資源不足
- ◆ 環境汚染拡大
- ◆ 高齢化の進展

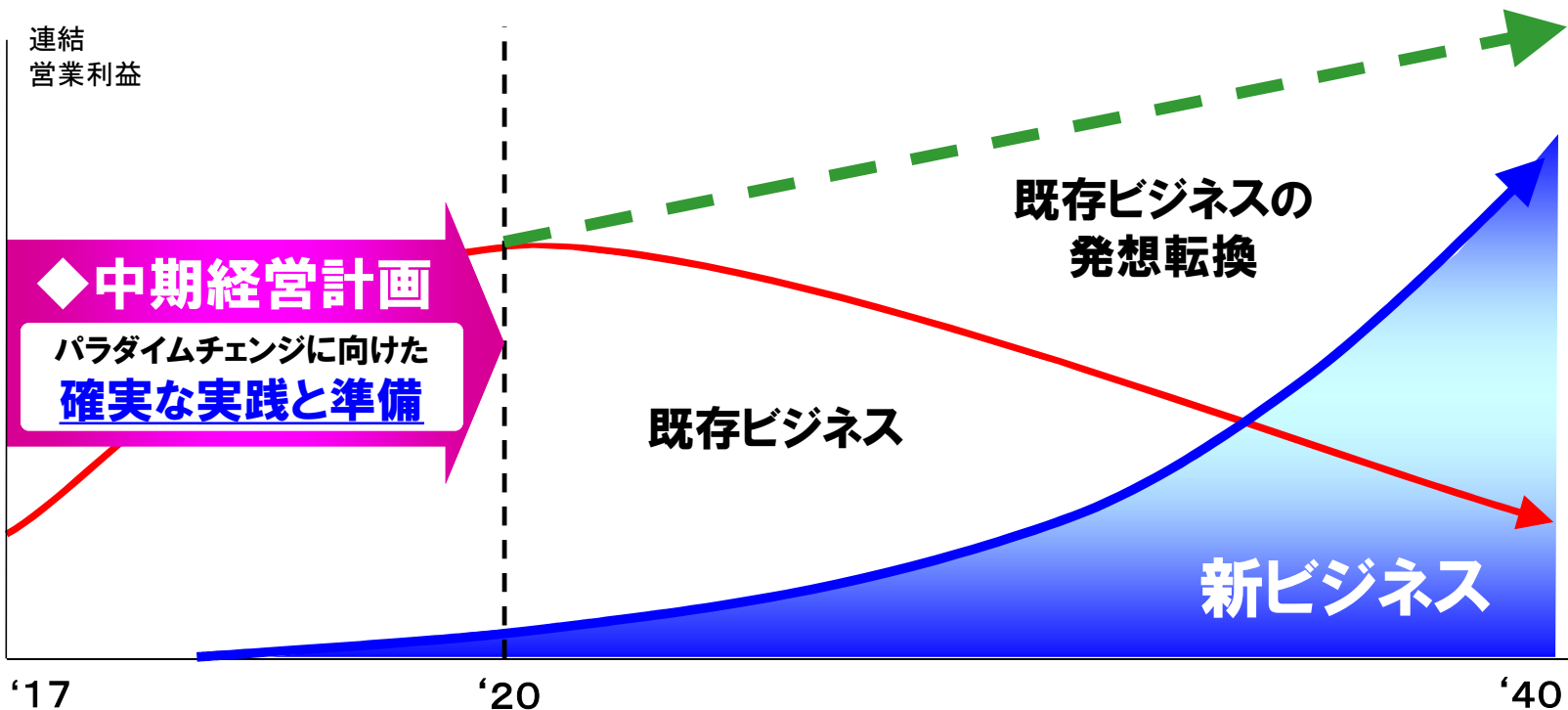
ビジネス環境(事業構成)が大きく変貌・変質

3. 将来ビジネスの方向性

(2) 社会環境を踏まえた当社ビジネスの変化

【既存ビジネス+新ビジネス】

◆“素材業のDNA” → 様々な分野・用途へ展開
→ 広く社会に貢献し続け、年輪的に成長



3. 将来ビジネスの方向性

(3) 付加価値創造と将来ビジネス構想

素材業のDNA	機能・付加価値拡大
特殊鋼条鋼	高強度・軽量化・ 高被削性・高靱性
ステンレス鋼 (非磁性・軟磁性)	MIセンサ・放熱部品・ アモルファスワイヤ
鍛造品 (熱間・冷間)	高剛性・複雑形状・ 低取代・高被削性
磁石 (粉末・成型)	希土類フリー磁石・ 磁粉射出成型技術

将来ビジネス構想

- **電池：電極材への素材の活用**
(DNAを活かした研究強化)
- **モータAssyへの参入と拡大**
(難形状磁石＋高強度鍛造品)
- **放熱部品の独占・単独受注**
(高いインバータ冷却能力)
- **自動運転に必要不可欠な技術**
(超高感度MIセンサ＋磁石)
- **水素社会にステンレスを応用**
(FCV、水素ステーション)
- **医療分野への参入**
(アモルファスワイヤの応用展開)

3. 将来ビジネスの方向性

(4) 将来ビジネス構想: 取組みの考え方

- ◆ 素材業のDNAを活かした付加価値の創出
- ◆ 技術のシステムパッケージ
- ◆ センシング技術の応用と展開

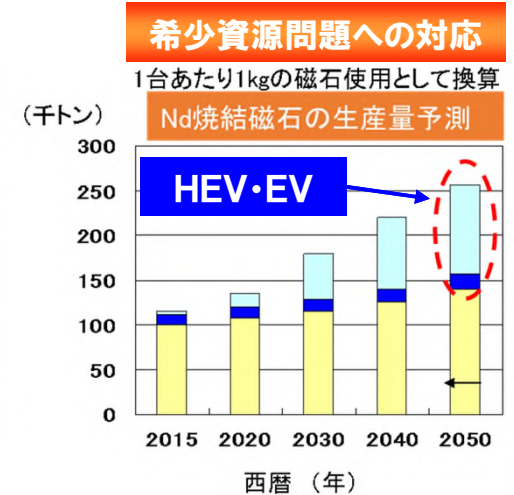
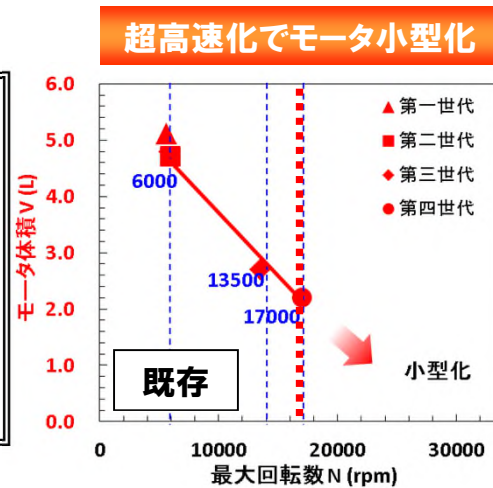
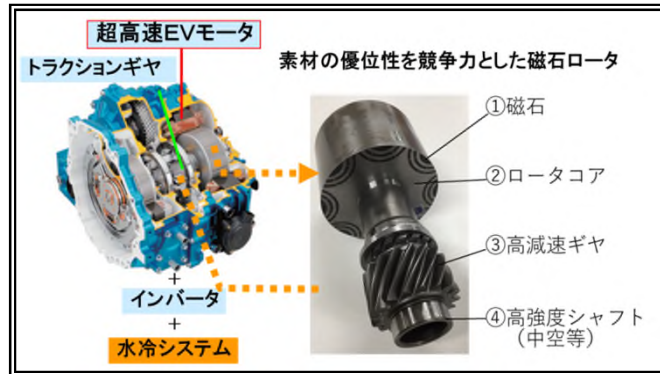
(5) 将来ビジネステーマ(案)

未来創生開発部でタスク化

No	テーマ	構想	
①	電池開発 (Ni水素、全固体)	EV向け次世代電池用材・セル開発	
②	EV用モータ開発 (モータ、トランスアクスル)	小型・高効率EVモータAssy開発	事例1
③	次世代インバータ放熱部品 (SiC対応)	高耐熱性＋一体成型PC開発	
④	磁気マーカースystem (自動運転支援)	磁気マーカースystem自動運転技術の活用	事例2
⑤	次世代金属材料 (アモルファス素材)	EVモータコア・トランス用材料開発	
⑥	医療・健康分野 (磁性ワイヤ応用)	アモルファスワイヤのキー素材化	事例3
⑦	次世代鉄供給材 (高性能あぐり)	安価原料での有機合成法による商品化	

【事例1】素材業のDNAを活かした付加価値の創出

◆EV用モータ開発



- ★超高速化でモータロータ体格小型化 (現行比▲50%)
- ★小型化でレアアース使用量低減 (希少資源問題への先手打ち)
- ★高強度鍛造品(当社製)との組合せで加減速への高い耐性

- ・航続距離伸長 (高効率領域拡大・バッテリー負荷軽減)
- ・Assy化で総合提案力を強化 (強み技術の組合せ)

計画どおり
評価進行中

【事例2】技術のシステムパッケージ

◆磁気マーカーシステム(自動運転支援)

- 高精度な位置推定、気象条件フリー
- 地域・インフラ条件フリー (GPS不感地帯も導入可)
- インフラ協調型 (路面への安価磁石埋込みタイプ)

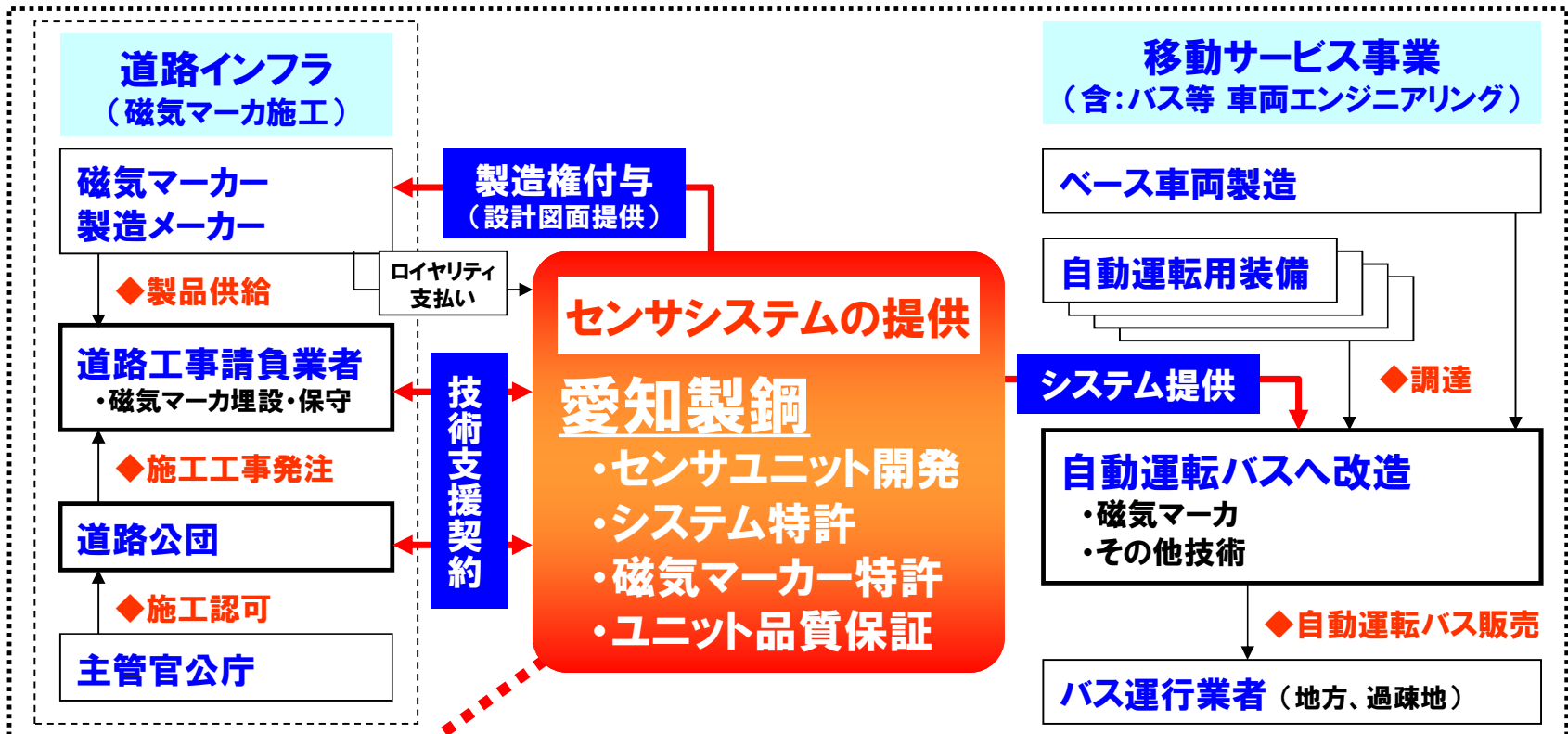


★政府指針:「未来投資戦略2018」

1-(3)-i)「実証プロジェクトの円滑・迅速な推進」において、
『“磁気マーカー敷設”等の環境整備を行う』と明記

政府戦略と合致→実証実験積み重ねによる具現化加速

【事例2】技術のシステムパッケージ:ビジネスモデル



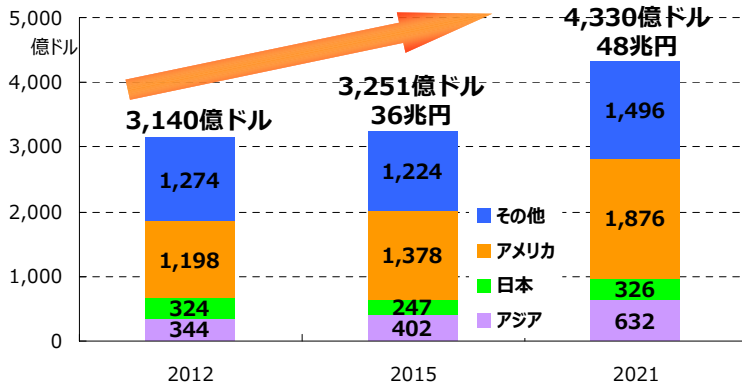
自動車メーカー、
電装品メーカー
への提供拡大

「モビリティ」全てに対する自動運転の信頼性担保
→安全・便利な社会を構築

【事例3】センシング技術の応用と展開

【医療機器の市場動向】

- 人口増加・高齢化を受け、世界の医療機器市場は拡大基調（年成長率5%）
- 世界市場は**2040年に120兆円規模**



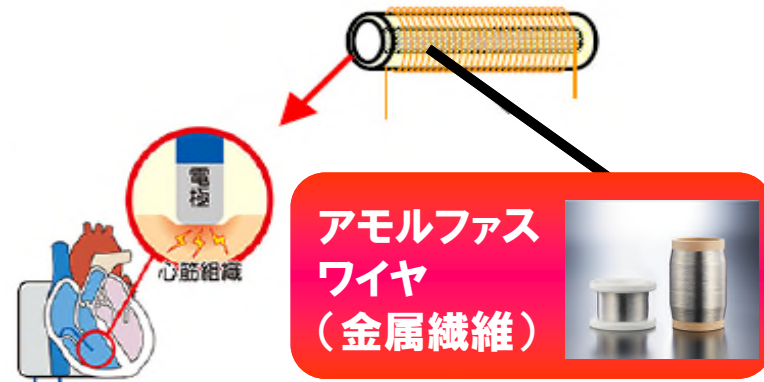
【医療機器の技術動向】

- 高度医療対応
 - 高機能化
 - 利便性
- **センシング技術**
 - 画像処理技術
 - 小型化

◆【用途例】アモルファスワイヤを応用した医療分野への参入

【不整脈治療用カテーテル】

- ◆ 高透磁率・超高感度なアモルファスワイヤ（MIセンサ）が注目されている



接触力検出・位置検出ニーズにアモルファスワイヤが効果を発揮
 → **世界の高度先進医療に貢献**（現在、医療機器メーカーで性能評価中）

目次

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 2020年度 中期経営計画の進捗と課題
3. 将来ビジネスの方向性
- 4. 最近のトピックス**

【次世代を支える新素材が表彰】

◆水素社会への貢献

高圧水素用ステンレス鋼が国際ステンレススチール
フォーラム「Best New Technology Award」を受賞



表彰式の様子



高圧水素用ステンレス鋼(左)とMIRAI(右)



◆高強度軽量化・省資源化への貢献

日本金属学会「技術開発賞」を受賞



授与されたメダル



開発鋼で製造されるリングギヤ

【社員を元気に】

◆働き方改革

当社本館が日経ニューオフィス賞を受賞



オープンスペースでの打合せの様子



コミュニケーション階段

◆企業スポーツ

ジャカルタ アジア大会で銀メダル



山西利和選手 2位 (20km競歩)、丸尾知司選手 4位 (50km競歩)



懸命な歩きを見せる山西選手



山西選手(左)と丸尾選手(右)



一輪車の世界チャンピオンである
佐藤彩香さんは、世界的な技術を
磨く当社のイメージキャラクターです

ご清聴
ありがとうございました
AICHI STEEL

本資料中に「予想」「信じる」「期待」「見込む」「計画」などの文言が用いられている場合は、将来の事象についての現時点における見解を反映したものであり、その性質上リスクと不確実性を包含するものであります。経済情勢の大幅な変動、事業環境の急激な変化などがそれに当たるものであることを予めご承知置き願います。